



東方Project

チルノ

スイカのシャーベット

» presented by Midori and Iori



» from commission

8月。  
うだるような暑さ。  
早朝から始まっていた畑仕事を終えた僕は  
縁側で田んぼからそよぐ風を浴びていた。

チーン...

チーン

みそやわ

あぢし

みそやわ

昼頃、寺小屋を終えた  
元気いっぱいの妖精の少女がやってくる。

チルノ！

おお！  
立派なスイカ！  
どうしたのそれ。

おにい、スイカもらったぞ。  
一緒に食べよう！

草むしり手伝ったら  
もらった！

みん

みん

そんで大ちゃんがさー

ールーミアなんて  
何回計算しても7になんの

寺小屋の先生と父が知人で、そのまま気がついたら  
生徒の一人のこの娘に懐かれてしまった。

みりん

友達もいるようだけど、  
僕のところに来るときは  
必ず一人だ。

みりん

ーあの時のリクルの驚いた顔、  
最高だったな！。  
おにいにも見せたかった！

おにい、スイカ、そんなに好きだったっけ？  
凄いなペースで食べてるな。

いやー……。  
今日は特に暑くてね。  
チルノのおかげで  
冷えたスイカが  
美味しくて。

おにい……。

こうも暑いと、  
スイカを抱きしめて  
寝たいよ。

みーん

みーん

あたい、涼しいだろ？  
冷たいだろ？



みずみず

ここ最近、  
チルノの距離感がおかしい。  
明らかに年齢相応の少女じゃない。

スイカだって、  
まだ二個、あるぞ。




みずみず

ちゃんと、あたいを  
見る……。

チルノ、待て。  
一回離れるんだ。

あー、もう  
じれったいな！

わー！



黙っておにいも  
脱げえ！



ダメだって！  
カ……つよ……！

どうだ……。  
子供扱い、するな……。

昨日までは  
ご飯食べてお昼寝して、  
夕方には帰ってたじゃないか。

チルノ……。  
いったい  
どうしたんだい……？

春頃に転んで泥だらけになった時、  
身体を洗ってあげたが……  
あの時は年齢相応の身体だった  
妖精の発育ってこんなに早いのか？

服はキツくなるし、  
おにいといないな時間はモヤモヤして  
苦しいし。

おにいのこと、毎日考えてた。  
そしたら、胸、どんどんデカくなってきた。  
友達からは太ったってからかわれるし。

そんで、けーね先生に聞いてみたんだ。  
これは、恋で……。

「ガンガン押せ」って。

子供に何教えてんだ先生ええええええええ

おい。  
また、「子供がー」とか、  
「子供なのに」って考えてるだろ。

勃起  
してて  
説得力ないぞ。

そ……それは  
生理現象と  
いって……。

もう観念しろ。  
あたかも我慢しない。

おにゅってごうされるのが  
気持ちいいんだろ？

どこでそんなこと覚えてんだ!!

けーね先生ともこうが  
授業終わった後  
してたの見た。

つめたっ……!!

いや、ひんやりして

気持ちいい……

そうじゃなくて、

慧音先生何してんだ……!!  
て……妹紅さん、  
男性だったのか？



は  
!!

いや……もこうが  
けーね先生のちんぽ  
挟んでたんだぞ。



あ  
にゅん  
♡

ははは!!

こっち集中しろー!  
けーね先生の話しばっか  
すんなー!

やめる、とか  
いけないって言うなら  
我慢すればいいじゃん！

あたいが子供で  
そういう対象で見れないなら、  
全然平気だよな？

ずいぶん

ずいぶん  
ずいぶん  
ずいぶん

ふんふん

情けねえ声。  
おにいい、可愛いよ。

今までも我慢してたんだろ？  
溜まったせーし、びめるびめる  
出しちゃえよ。

おんんん

おんんん

おんんん

おんんん

うんうんうん...

おんんん

おんんん

おんんん

おんんん

我慢しなくていいよ。  
イツちゃえよ。



イ  
け



すっげえー……  
本当に出た。

おしっこと  
全然違う。

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

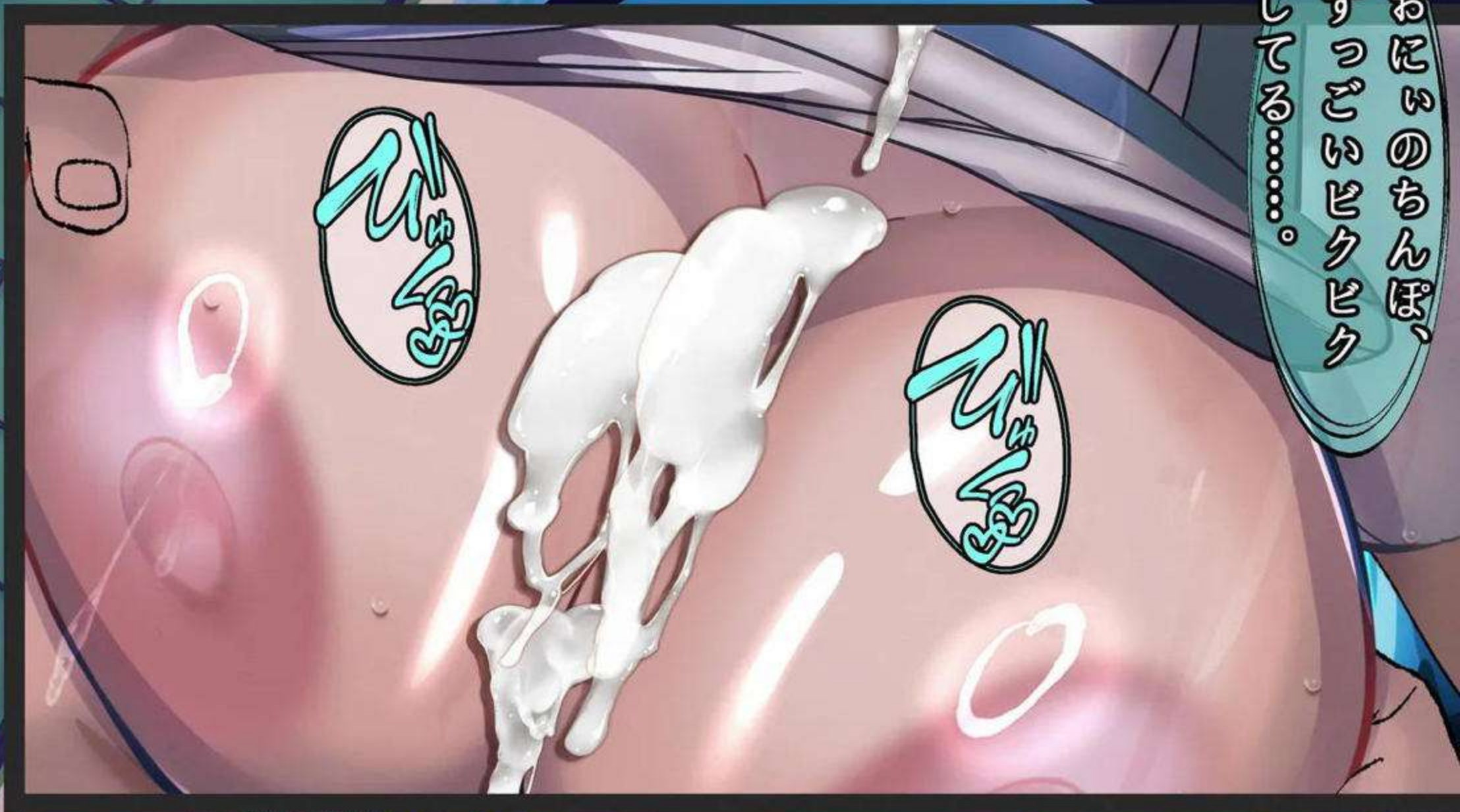
んんんんん

んんんんん  
んんんんん

あ……あ……あ……  
んんんんんやっぺってしまった……。

んんんんん  
んんんんん

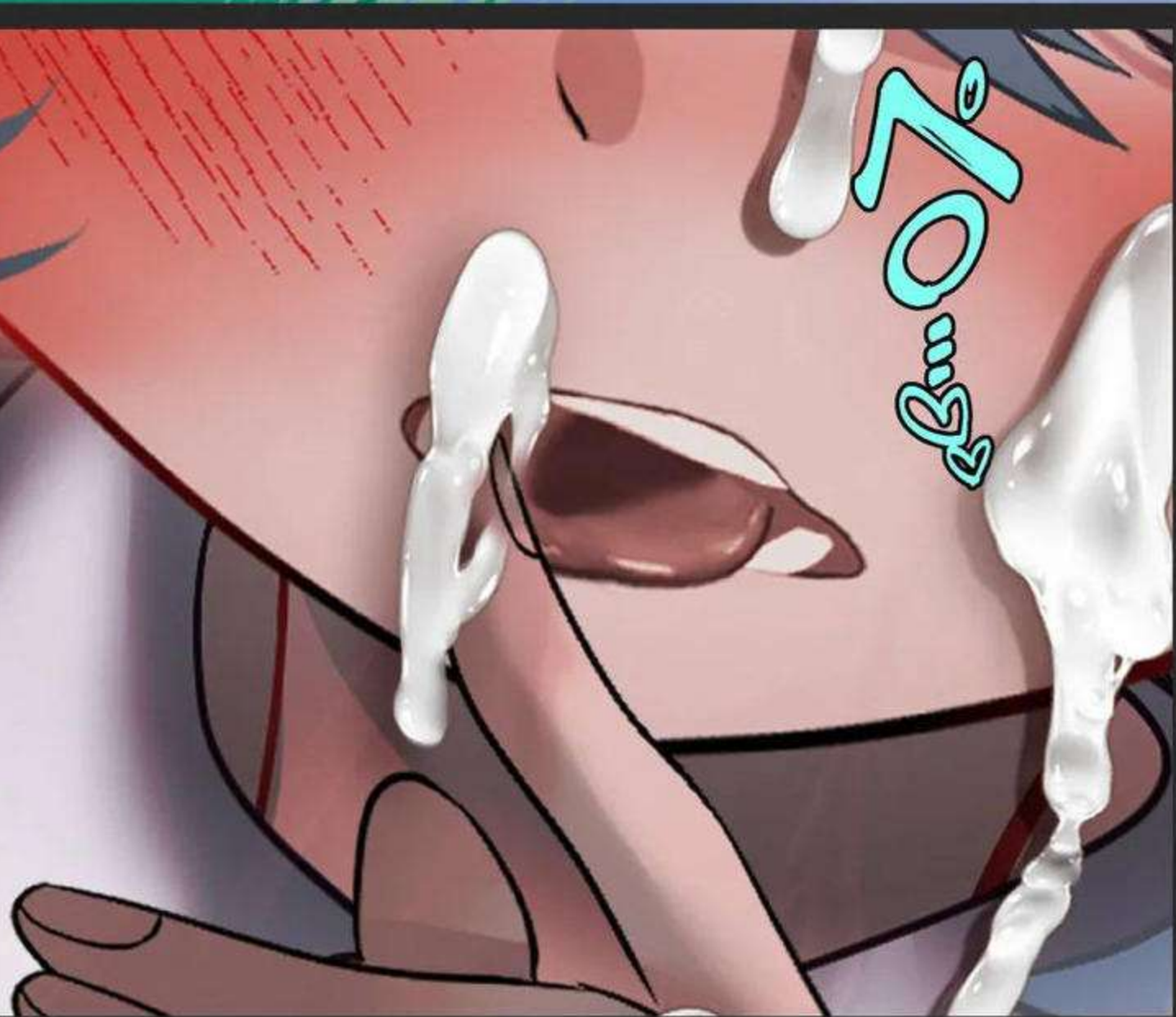
おにのちんぽ、  
すっごいピクピク  
してる……。



んんんん

んんんん

せーしってこんな味なんだ……  
臭いも、くらくらしてくる……。



んんんん

まずい

あ……あのねえ……。  
まあ、実際臭いし  
口に含むものではないし。

気は済んだかい……。  
下りてくれないかな。

ん……

くわい



あたいを子供扱いする  
おにいはいはこうだ!

ちんぽにあたいが  
大人ってことを  
教え込んでやる!

おにい...  
ちんぽ

もう一回せーし  
出すまで止めて  
やんない

忘れていた

この娘の根っこは

なっさけない声出して、  
無様射精する！

おら！もうっかいイけ！

とんでももない  
イタズラっ子だった



2回目の方が多くない？  
おにいのちんぽ  
どうなってんの？

チル………  
もう、やめて……  
気持ちいとか以前に、  
痛いんだ……

まだ固いじゃん……

やだ……。

チルノ……  
本当に、いい加減にしないと……  
今後の付き合い方も  
考えないといけないんだよ。

……ちゃんと、  
言ってなかった。

……とにかく、  
一旦落ち着こうよ。  
誰だって、間違いはあるから。

ぬる……♡♡

おにい

おれ  
金持

びん  
ん

うあー!!  
流石にそれはダメだ!

ズ  
ズ

ズ  
ズ



アッ!

アッ!

痛い

ああ……  
無茶して……  
抜くんだ!  
いや、動いちゃダメだ!

逃さない

妖精ってだけで、  
バカにされて  
蔑まれて、

姿が殆ど  
変わらないから  
恋もできなかつた

妖精の仲間たちは、  
開き直って人間にイタズラ  
するようになって、ますます  
人間から嫌われた

大ちゃんもリグルも  
おにいのこと馬鹿にするし、  
しんじらんない！

おにい。  
おにいには違った。  
あたい……あたいをちゃんと  
見てくれた。

でも、おにいには  
恋人じゃなくて妹みたいな  
見方しかしてくれない。  
これからもあたいは  
この姿のまま。

おんぼのまおおせ

頬から滴り落ちる涙が凍って結晶になっ  
ていた。  
彼女には申し訳ないけど、  
とても美しいと感じた。

おんぼのいこざと  
おんぼのまおおせ

あつこに  
おっぱい

あつこに  
おっぱい



おのの

3000

水子

1

1000



チルノ

チルノ

チルノ

チルノ

チルノ……  
僕も、好きだよ。

子供扱い……だったな。  
幼い君と友達以上の  
ことは凄く抵抗があった。  
たとえ、妖精でも。


ん……♡♡

でも、僕よりずっと長い時間  
生きてるし、  
悩みも沢山あったんだね。  
寂しい思いさせてごめん。

悪いと思ってるなら  
大人のちゅーしろー

チルノのキスは、シャーベット状でスイカの味がした。





チルノ、そろそろ  
お風呂入らない？  
精液、拭いただけじゃ  
臭いも落ちないし。

やだ。  
もう少しこうしてたい。



そうだ、いっこ  
言っておかないと。

もう、  
あたいのこと  
寂しくさせないでね。

おは。

An anime-style illustration of a young girl with short, light blue hair and bright cyan eyes. She has a distressed expression, with red blush on her cheeks and a single tear falling from her right eye. A large, white, irregularly shaped object, resembling a piece of ice or a large drop, is melting and dripping down her chest. A large, muscular hand is placed on her right shoulder. The background is a dark, industrial-looking interior with blue light sources and a window showing a cloudy sky.

東方Project

チルノ

スイカのシャーベット

the end







